

# 手紙

新庄 よしこ

或る日倉橋主事から、横河様子さんの委しい來歴が知りたいが、爲人、出身なごについて、その頃御一緒であつた豊田さんや、小西さんや、氏原さんなごへ、問ひ合せてもらひたいごいふお話があつた。明治十一年頃から、同じく十六七年頃迄、こゝの附屬幼稚園の保姆であつたので、その頃のいろくの記録なごを讀んで見るご、よく出てくる名であつたら、何さなく親しみも持ち、豊頼のいごも柔和な、これが横河さんご聞かされて、寫真を見てもすぐわかる程にはなつてゐた。然し、その委しい履歷についてはわかつてゐなかつたので、これは丁度いゝ機であるから、早速この際お伺ひして置きませうごお返事をしておいた。

急ぎごは知りつゝも、あり合せの用箋で走り書きごいふ氣にもなれないで、氣にかゝりながらも次の日曜の朝を待つた。日當りのいゝ縁側に巻紙をひろげて、さう書かうかご考へ考へ墨をするのは、若い頃覺えなかつた樂しみである。

かうして書いた宛て名の先生は、何れも齡七十をさうに越して居られる高年の方々ばかりなので、ほんさうならば、参趨の上親しくお目にかゝつて伺ふ筈、手紙に託してごいふごは、返事をお書かせしなければならぬ先生方の、そのわづらはしさを、心ぐるしく思ひながら、相濟まぬよん所なさをこゝろに詫びつゝも書いたのであつた。

しばらく経つてから、夫々お返事が來た。明治十四年ごろから、幼稚園主事で、最も同女史ご交りの深かつた小西信八先生からは、今問ひ合せ中故、わかり次第お知らせするごいふ葉書であつた。

熱海西山に老後を養つて居られる、云つても、讀み書きがお好きで、まめに書いて下さる幼稚園のおばあさま、氏原銀子先生からは記憶をたぎつて、細々書き下された。明治十二年ごろ、同じく保育練習のために幼稚園に居られて、そのまゝ練習済みの上は保母として、のこられたやうに思ふ、漢文のたくみなこもつけ加へてあつた。

いつからか眼がお悪いといふ豊田先生からは、さうかしら、お返事が頂けるか、それこそ代りの方からでも思つてゐたところ、いつものお字の封書が届いた時は嬉しかつた。これにも大そう漢學の素養深く、資性溫和でさあつた。この巻紙の終りに、豊田英雄九十二歳小さく添へ書がしてあつたので、私はもう一度繰り返してこのお手紙を讀んでみた。折柄風邪をひいて居て、こちらよりこそ代筆のお禮の手紙を出したやうなわけであつたが、臥つてゐた折柄感じ易く、この高齢の先生のこゝがあれこれ思ひ出されて、一人でいろいろ、皆様にもお話したいやうな氣で、考へて居た。

昭和四年お茶の水の園舎で、幼稚園懷舊談會を催し、先生方をお招きして、舊い幼稚園のこゝをいろ／＼伺つたこゝがあつた。明治九年附屬幼稚園の創設に、親しく關與せられた豊田英雄先生は、水戸からはる／＼お出で下さつたのであつた。玄關へお迎へした時、丁度そこに小西先生がお出でになつて、お二人で堅い／＼握手をなさつたこゝも思ひ出される。五十年振りでもあつたらうか。この會でお目にかゝつたばかりではもの足らず、明けての年の春の休みに、水戸のお住居まで出かけて行つた。人通りも稀れな古風な上町のお住居には、先生様先生様云つてかしづく老婢さ二人、もの靜かに暮してお出で、當時すでに八十幾歳かであつたのに、猶ほ公の教育のお仕事があつたやうである。昔の幼稚園について何の知識も無い私が、唐突にお伺ひする數々を、遠い日の記憶をたぎつては話して下さつた。或は又書齋から、貴い記録を持つて來られたりして、一々答へて下さつた。梅林風に植え込まれた折柄盛りの白梅を、この師の庭にふさはしく眺めたのも忘れられない。

それからしばらく経つてから、重い書留の封書が届いた。すぐにそれは小西先生から知られたが、封をあけて見るに八王子の横河さんの御生家から、わざわざ一紙り寄せて下さつた様子女史の履歴書であつたのである。

明治のにはひのする十枚あまりの美濃紙に書かれたこれで、様子女史の來歴は、いよく明確になつたわけである。早速小西先生にお禮のはがきを出すに同時に、手紙の方は大切に金庫に藏つておいた。

舊いこまにばかりに興味を持つまいふわけではない、明其舊而知其新のころは持つてゐるつもりであるが、事幼稚稚園に關しては、そんな些細な歴史でも、記し止めておきたい云はゞ癖のようなものである。この癖は人に――こまに若い――強うべきこまではなく、獨り愉しむ方がいゝと思つてはゐるが、満更そうでもなくて、何か舊い記録なき手に入れて、見て頂くまなか／＼手應へのあるよろこびをして下さる方があつて、張合がある。倉橋主事はかねてから、幼稚園開設當時(明治九年)の文部卿田中不二齋氏の寫眞の無いのを惜しいと云つて居られた。つい近ごろ、これを野間、及川兩氏に話したまころ、この爲にいろ／＼手をつくして下さつたので、うれしくもあり感謝もしたこまであつた。

九十二歳の豊田先生が御健在で、かうして問ふこまに答へて下さる。小西、氏原その他の先生方はまだ／＼お若い。幼稚園が、かういふ高齢の方々を持つこまを、一人だけで楽しんでゐるに忍びず、ひろく皆さん方にもお知らせしたくて、ここに記したわけである。この方々がいよく、末永く健在でお出でのこまを、さうぞ皆様も祈つて居ていたゞきたいこまに思つてゐる。